

「1.5℃ ライフスタイルプロジェクト」について（ご協力依頼）

横浜市温暖化対策本部では、洋光台エリアをモデル地区として選定して、以下のような取り組みを予定しています。詳細が決まりましたら改めてお知らせしますので、ぜひご協力ください。

目的

国際目標（パリ協定）
気温上昇 1.5～2℃に抑制

気候変動対策（超大型台風や気温上昇の発生などの防止）のためには、産業革命前からの気温上昇を2度未満、できれば1.5度に抑える努力が地球規模で必要とされています。

日本の場合
2050年の年間CO₂排出量
現在より約90%削減へ

国際目標を達成するため、日本において、現在、1人あたりのCO₂排出量が年間7,600キロであるのを、2030年には2,500キロ、2050年には700キロまで減らす必要があります（それぞれ、製品などの製造、輸送や廃棄に伴うCO₂を含む数字です）。

目標達成のために…ライフスタイルの転換が必要

ライフスタイルの転換のためには、どのような行動が取り入れられるか、どんなサービスがあれば転換できるかを住民の皆様とともにワークショップと実際の生活での実践により検討し、目標達成に向けた「横浜版シナリオ」を策定します。

CO₂削減につながるライフスタイル 選択肢(例)

※【 】1人が1年間に削減できる最大量

野菜などの中心の食事
【340キロ減】



買物やレジャーは公共
交通機関を利用する
【720キロ減】



電力を再生可能エネルギー
由来に切り替える
【1250キロ減】



実施概要

住民の皆様にご協力いただき、参加型ワークショップの開催や実際の生活での実践を通して、より実現性の高いライフスタイルの転換方法を見出し「横浜版シナリオ」を策定します。

【実施スケジュール(予定)】 ※現時点での想定であり、今後の状況により変更等の可能性があります。

・8月中旬：参加者募集（ワークショップ：30人程度、家庭での実践調査：5-10人程度）

・9月中旬：第1回ワークショップの開催

（この間の約1か月）：家庭での実践調査

・11月中旬：第2回ワークショップの開催

パズルゲームを通じて目標達成するためのライフスタイルの選択肢を議論 など

第1回ワークショップで選んだライフスタイルの選択肢を実生活にて実践

実践調査の結果報告
横浜版シナリオ(案)の議論 など



実施主体

- ・「公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)」：環境問題の専門的な研究所
- ・「イクレイ日本」：持続可能な都市を目指す自治体のネットワーク

※本プロジェクトは、国内2都市(横浜市、京都市)、海外4か国(タイ、インド、ブラジル、南アフリカ)にて実施され、策定されたシナリオは、国際会議等において発信していきます。

【お問合せ先】

横浜市温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課

TEL：045-671-4371

建築局 住宅再生課

TEL：045-671-2954